



東港金属株式会社

東京都大田区京浜島2-20-4

電話 03-3790-1751

URL <http://www.tokometal.co.jp>

(見学受付)

電話03-3790-1751 又は 各営業担当

*また地震の話です。このコーナーで地震を話題にしたのは何回目でしょうか。日本はそれほど地震が多い国なのです。2011年の、東日本大震災は地震そのものによる被害よりも、大津波、原子力発電所の事故による被害のほうが甚大で、今なお復興への長い道のりを歩んでいます。そして今回4月14日、16日と続けて熊本県、大分県で震度7地震が起きました。前震と本震との発表ですが、実感では本震が2度も?信じられません。

これらの地震は、南北方向に張力軸を持つ、右横ずれ断層型(正断層成分を含む)の内陸地殻内地震であり、北東-南西方向に伸びる震源断層を持つと発表され、余震は1ヶ月過ぎた今でも収まりません。震度5、6も含めすでに1500回を数えるとのこと。30分に一度の割合です。想像を絶します。復旧への手助けのために日本国中が挙げて手を差し伸べていますので、根気よく頑張ってください。

一方で、今回被災を免れた地方の皆さんは、非常時についての見直しをされていますか?

決して他人事ではないことを肝に銘じましょう。

*東港金属株式会社は非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物の処理を“いつでも”お受けいたします。身近なリサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。



★羅針盤

鉄・非鉄スクラップ・市況からの5月予測

営業部 Y の考察

- 鉄スクラップ** → 考察) 4月は、東京製鉄宇都宮工場の特級価格が19,000円/トンから25,000円/トンに上りました。海外輸出の価格の上昇が原因です。5月に関しては、すでに下げの要因があり海外の輸出価格が上っているため、中旬から間違いなく下がるでしょう。
- 銅** → 考察) 4月はLME4,880ドル/トン国内銅建値590,000円/トンスタート。為替が円高に振れたことによりLME価格が上ってもあまり変わらず。5月に関しては、LMEは多少良くなっているが為替が110円を切っているの下げが予想されます。
- アルミ** → 考察) アルミに関して4月は後半下がりましたが、5月は横ばいでしょう。
- プラスチック** → 考察) 円高・原油により左右されますが、スクラップに関しては中国の買い意欲が特に強くない為横ばいでしょう。

4月予測の自己評価

鉄スクラップ	○	アルミ	○
銅	×	プラスチック	○

★羅針盤

クールビズについて

「衣替え」この言葉を知らない年代も増えてきたのではないのでしょうか? 昔から夏物衣料と冬物衣料の切り替わる時期を、6月1日、10月1日に決めている日本の慣習で、今ではクールビズ、ワームビズの始まる時期に置き換わっている感があります。

今年もクールビズの時候となりました。弊社社員もノーネクタイで接客等々させていただきますので、ご理解を賜りたく、宜しくお願い致します。

地球温暖化抑制のため、平成9年の第3回気候変動枠組条約締約国会議(COP3)で京都議定書が採択され、平成17年に発効されました。日本では平成20~24年の間に温室効果ガスの排出量を平成2年に較べて6%以上削減することが目標として義務付けられました。この対応として、平成17年に小泉内閣にて環境大臣に就任した小池百合子が内閣総理大臣の小泉純一郎から、「夏場の軽装による冷房の節約」をキャッチフレーズにしたらどうかとアドバイスされ、それ以降、環境省の主導のもと、ネクタイや上着をなるべく着用せず(いわゆる「ノーネクタイ・ノージャケット」キャンペーン)、夏季に摂氏28度以上の室温に対応できる軽装の服装を着用するように呼びかけました。

「クール・ビズ」という表現は平成17年4月に行われた環境省の一般公募によって選ばれたもので、「涼しい」や「格好いい」という意味のクール(英語:cool)と、仕事や職業の意味を表すビジネス(英語:business)の短縮形ビズ(BIZ)を併せたもので、その年のユーキャン新語・流行語大賞のトップテンに選定されました。

平成17の段階では衣料メーカーや百貨店は、開襟シャツなど、ネクタイを装着してなくてもだらしなく見えないデザインのシャツや沖縄で夏のシャツとして普及しつつある かりゆしウェア の販売を展開し、当初は定着するかどうかは未知数とされましたが、平成19年に行われたあるアンケートでは認知度が9割以上、実践率が約46%と高くなっていました。日本国内ではクール・ビズに関しては賛否両論があるものの、日本国外では日本のキャンペーンに賛同しそれをヒントにして類似のキャンペーンを行う政府も増え、平成20年には国際連合もクールUNを行いました。

実施期間は環境省の当初の想定では、6/1~9/30となっていました。平成23年には東京電力・福島第一原子力発電所での事故等の影響による電力不足も考慮して、政界・官公庁や一部の上場企業によって5/1より実施されました。平成24年からは環境省がクールビズの取組をさらに徹底し、日常の様々な工夫で快適に過ごす取組を推進し「スーパークールビズ」として打ち出しております。今年も気持ちよい軽装で、猛暑へ対応しましょう。

参考:環境省ホームページ及びWikipedia



(第1回) ミラクル・Let's・スター

初めまして、営業部営業一課の小谷と申します。

今回からこのコーナーを短い期間(6回程度を予定しております)ですが担当させていただきます。このコーナーで、私はその時々々の時事ネタと自身の経験を交えながら綴っていきたくと思っています。

さて、今回は「初めて」をテーマといたします。なぜなら、ここ最近、“初”を目にすることが多いからです。

先ずは、創業以来初。と大きな話題となった大手商社2社の赤字決算発表。共に原因は不安定な資源相場と口を揃えています。この話題は当社としても痛感させられたことでもあります。戦後からとのことなので70年となり、70年に一度のことは地球の歴史から考えれば大して大きな話ではありませんが、何より初であるのですから意味合いが違います。当社としても身が引き締まる思いです。

かわって、海の向こうからは、うれしい初のニュースが届きました。サッカー日本代表の岡崎選手が所属するイングランドプレミアリーグのレスターシティが創設133年目にしてリーグ初制覇。サッカー少年だった私はそれが奇跡と思うことは当然のことですが、サッカーにあまり興味のない方はどのくらい奇跡なのかよくわからないかも知れません。因みに例を挙げると、イギリスのブックメーカーでのレスターが優勝した時のオッズは5001倍なのです。比較例でいうと、イギリスの第2党の党首が007のジェイムズボンド役に抜擢されるオッズは1000倍。勿論、元俳優でもない政治家さんです。ともかく奇跡のことであり、世界中の新聞にミラクル・レスターの文字が躍りました。ちなみに私がつけた本題名は、ミラクルレスターをもじったもので、まったく意味はありません。

レスターの試合を何度か見ましたが、開幕直後と後半とでは差がありました。戦術は同じなのですが、負けない意識から勝ちにいく意識へ変化していったのです。

前途したように、トップに立っていた企業が落ちれば、逆に初トップに立った企業もあり、レスターも同じで、トップが転んだからとの見方も出来ます。いや、実際レスターは優勝に値するほど強かったです。レスターの選手は評価を得られなかったもの、素行不良なもの集まりでした。個性がぶつかるスーパースター軍団に対して、お互い認め合い補い合う形で撃破してきたレスターシティ。現在はスーパースターへと駆け上がり、よりよいオファーが届く選手もいっぱい現れたが、残留を希望する選手が多いとか。レスターが好きだから、ファンが好きだから、仲間が好きだから。

大きな組織には適用できないかもしれないですが、小さな集団には愛の力が働くことには必要であることを実感させられました。

そして、その力は大きな組織すら撃破することができることを。

この文章を書いていて、ある方の言葉が蘇りました。最後にそれをお伝えして今回はお仕舞したいと思います。お読みいただきありがとうございます。

記者「まさに雑草魂ですね。」

ある方

「雑草? 雑草という名前の花はないのです(昭和天皇のお言葉)。」

営業部(小谷 和之)